

## 中野 寛之 議員

(一問一答方式)



- ①新しい市民文化会館の建設費について
- ②ＪＲ伊予大洲駅前駐輪場の整備について
- ③キャッシュレス決済プレミアムポイント還元キャンペーンの検証について
- ④市立就学前施設の今後のあり方について
- ⑤市立保育所での完全給食実施について
- ⑥いじめ防止への取組強化について

### ＪＲ伊予大洲駅前駐輪場工事の概要と完成時期について

**問** ＪＲ伊予大洲駅前駐輪場について、駐輪場の規模や駐輪可能台数、完成時期について教えてください。

**答** 駐輪場の整備については、昨年度からＪＲ四国と協議を重ね、設置する位置や範囲などの整備方針がおおむね整ったことから、今議会で現地測量、実施設計及び工事に要する経費を上程しています。

本年１月に伊予大洲駅を利用し通学している生徒数、現地の駐輪台数などの調査をし、その結果を踏まえ、計画台数を200台程度と考えています。

完成時期については、目標は年度内の完成としていますが、現地測量や実施設計におけるＪＲ四国との協議、仮設駐輪場の設置やその周知、誘導等に一定の時間を要するほか、工事中の不測の事態などを考慮し、令和７年８月末までの完成を目指しています。利用者の方が待ち望まれている施設であることから、できる限り早い完成を目指して取り組んでいきたいと考えています。

### キャッシュレス決済プレミアムポイント還元キャンペーンの事業評価と今後の取組について

**問** キャッシュレス決済プレミアムポイント還元キャンペーンが令和４年１１月と令和５年２月の２回に分けて実施されたが、消費効果額を含め、どのような事業評価をされているのか。

**答** 本事業は、新型コロナウイルス感染症と原油・物価高騰の影響で低下した消費行動を喚起し、非接

触のキャッシュレス決済を推進するため、期間中に市内対象店舗でキャッシュレス決済を利用した買い物をすることで、５,０００円を上限として最大２０％相当額をポイント還元したものです。

このキャンペーンは、キャッシュレス決済事業者４社と委託契約を締結し、第１弾と第２弾の２回実施し、市内の４２４店舗に協力をいただきました。

これら還元したポイントをはじめ、周知等に要した事務経費などに係る事業費は約１億４,６００万円になります。関連したポイントと、そのポイントを得るための消費額を合わせた消費効果額は事業費の５.６倍の約８億２,０００万円と推計していますが、実際にはポイント還元可能な金額以上の消費があったことから、その効果はさらに大きなものであったと考えています。

### ３歳児以上における主食持参の実態とその改善について

**問** 市立の認定こども園は完全給食になっているが、７か所の市立保育所では３歳児以上は主食（ごはん）を持参することになっている。保護者の負担軽減や、夏場は衛生面の課題もあることから、保育所でも主食を提供することはできないか。

**答** 主食の提供に向けては、給食の安全・安心の確保を最優先に、炊飯用の備えはもとより、調理員の配置の見直し等、適正な環境整備が必要となることから、認定こども園化に合わせて順次対応を進めてきたところです。

平成３１年に現行の大洲市立幼稚園・保育所再編計画を策定以降、順次施設再編を進めており、令和７年度には長浜保育所を長浜こども園に移行します。また、現在整備中の八多喜、徳森の両施設も、認定こども園としての開園を目指して工事の進捗を図っています。

なお、徳森については、他の施設での自園調理を補完するため、給食の搬出機能を備える予定としています。

今後も公立施設の認定こども園への移行を順次進めていき、全ての公立施設で主食の提供ができる環境を整備していきたいと考えています。